

令和7年度 墨江丘中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

全体として、平均点は全国と同程度であり、無回答率は全国に比べ良い結果であった。

<国語> 「知識・技能」の領域では全国平均を3.8点下回ったが、「思考・判断・表現」の領域では全国平均を0.2点上回った。全体として、大阪府平均を2.0点上回り、全国平均を0.3点下回る結果となった。

<数学> 「知識・技能」の領域では全国平均を2.6点下回ったが、「思考・判断・表現」の領域では全国平均を4.5点上回った。全体として、大阪府平均を2.0点上回り、全国平均を0.7点上回る結果となった。

<理科> 平均と比較してIRTバンドが1や5の生徒数が少なく、3の生徒数が多くなっていた。

○チャレンジテスト(3年生)

<成果> 社会以外の全ての教科において、大阪市の平均点を上回った。また、全ての教科で無回答率を下回った。

<課題> 社会の平均点は大阪市の平均に比べて2.5点下回った。

○大阪市英語力調査(GTEC)において、

<成果> 全項目において大阪市の平均を上回り、特に「書くこと」は20点以上上回る結果となった。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplus

<成果> 1年英語以外の全教科で、大阪府(1年理科・社会は大阪市)の平均を上回った。

<課題> 1年英語は、2.6点大阪府の平均を下回った。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において

<成果> 全体として、大阪市・全国の結果を上回った。

【今後に向けて】

思考力を磨く教育については一定の成果が出ているので、同時に基礎知識を身に付けさせる取り組みを行っていく。

体力・運動能力についても良い結果が出ているので、今後も同様の指導を継続しつつ、改善を行っていく。